

国語科学習指導計画

福山市立加茂中学校 中川 由枝

学 年 第2学年
 単元名 「対話の達人になろう」
 単元の目標

- ・自分の意見と根拠を区別し、順序を考えて話すこと。
- ・話し手の意見と根拠を聞き分け、一番言いたいことは何かを考えながら聞くこと。
- ・お互いの意見の共通点や相違点を聞き分け、自分の考えを深めること。

単元の指導計画（全5時間）

時	学 習 目 標 ・ 評 価 規 準	学 習 活 動	留 意 点 ・ 工 夫 点
1	<p>テーマ「よい対話について考えよう」</p> <p>対話についての目標を明確にすること。</p> <p>対話について、自分の考えを表現しようとしている。</p> <p>（国語への関心・意欲・態度）</p>	<p>対話のための準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望ましい対話の条件を考え、対話についての目標を明確にする。 	<p>ワークシートを用意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話について意見交流をし、対話学習の目標を共有する。 ・望ましい対話の条件をできるだけ具体的に考えさせる。
2	<p>テーマ「自分の話を分かりやすくまとめよう」</p> <p>自分の意見と根拠を区別し、順序を考えてまとめること。</p> <p>自分の意見と根拠を区別し、順序を考えてまとめている。</p> <p>（話す・聞く能力・・・話す）</p>	<p>1回目、2回目の対話のために資料を読み、自分の話をまとめる。</p>	<p>ワークシートを用意する。</p>
3	<p>テーマ「対話をしよう」</p> <p>自分の意見と根拠を区別し、順序を考えて話すこと。</p> <p>自分の意見と根拠を区別し、順序を考えて話している。</p> <p>（話す・聞く能力・・・話す）</p> <p>話し手の意見と根拠を聞き分け、一番言いたいことは何かを考えながら聞くこと。</p> <p>話し手の意見と根拠を聞き分け、一番言いたいことは何かを考えながら聞いている。（話す・聞く能力・・・聞く）</p>	<p>各グループに分かれて、対話を行う。</p> <p>グループ内で対話を振り返り、自己評価・相互評価から、自分の課題を明らかにする。</p>	<p>グループ内で対話者・記録者・観察者に役割を分担し、ローテーションで交代しながら対話させる。</p> <p>相互評価したことを評価カードに書かせ、さらによい対話にするためにグループ内で意見交流をさせる。</p>
4	<p>テーマ「対話の達人について考えよう」</p> <p>2回目の対話に向けて、自分の意見と根拠を区別し、順序を考えてまとめ直すこと。</p> <p>自分の意見と根拠を区別し、順序を考えてまとめ直している。（話す・聞く能力・・・話す）</p> <p>対話の達人を目指して、相手の一番言いたいことを聞き取るためにはどうすればよいかを考えること。</p> <p>相手の一番言いたいことを聞き取れなかったときの対応について考えている。（話す・聞く能力・・・聞く）</p>	<p>1回目の対話で明らかになった課題を克服するための学習。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話の達人を目指して、相手の話を確認する発言の仕方・メモの取り方・相手の話にかかわらせた発言の仕方を考える。 ・2回目の対話のために自分の話をまとめ直す。 	<p>ワークシートを用意する。</p> <p>1回目の対話を踏まえて、2回目の対話に向けての目標を明確にさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の意見を考慮して、自分の意見と根拠を考えさせる。 ・根拠を分かりやすくするために、具体例を考えさせる。 ・意見と根拠を聞き取れなかったときのために聞き返す言葉を指導する。 ・意見と根拠を忘れないためにメモを取ることを指導する。 ・相手の意見を考慮した対話の進め方を指導する。
5	<p>テーマ「対話の達人になろう」</p> <p>自分の意見と根拠を区別し、順序を考えて話すこと。</p> <p>自分の意見と根拠を区別し、順序を考えて話している。</p> <p>（話す・聞く能力・・・話す）</p> <p>話し手の意見と根拠を聞き分け、一番言いたいことは何かを考えながら聞くこと。</p> <p>話し手の意見と根拠を聞き分け、一番言いたいことは何かを考えながら聞いている。（話す・聞く能力・・・聞く）</p> <p>お互いの意見の共通点や相違点を聞き分け、自分の考えを深めること。</p> <p>お互いの意見の共通点や相違点を聞き分け、自分の考えを深めている。（話す・聞く能力・・・話し合う）</p>	<p>各グループに分かれて、対話を行う。</p> <p>望ましい対話についての目標を達成できたかどうか、グループ内で対話を振り返り、自己評価・相互評価を行う。</p>	<p>グループ内で対話者・記録者・観察者に役割を分担し、ローテーションで交代しながら対話させる。</p> <p>相互評価したことを評価カードに書かせ、グループ内で意見交流をさせる。</p> <p>前回の対話と比較させ、よくなったところをグループ内で交流させる。</p>

単元の評価計画

時	評価		判断基準		努力を要する(C)
	主体	方法	十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	生徒に対する手立て(支援)
1	自己教師	ワークシート	望ましい対話について、三つの観点(話すこと・聞くこと・話し合うこと)すべてにおいて、自分の考えをワークシートに合計5個以上記入している。	望ましい対話について、自分の考えをワークシートに5個以上記入している。	対話例のよいと思う箇所に線を引かせ、線を引いた箇所を話すこと、聞くこと、話し合うことに分けて考えさせる。
2	自己教師	ワークシート	意見と根拠を区別し、根拠を資料以外からも示し2個以上ワークシートにまとめている。	意見と根拠を区別してワークシートにまとめている。	自分と同じ考えの箇所に線を引かせ、それを基に根拠を考えさせる。
3	相互教師	記録用紙	自分の意見と根拠を区別し、対話の中で意見を述べるときは根拠も述べている。	自分の意見と根拠を区別し、対話の最初で意見を先に述べている。	ワークシートを参考にして話すように指導する。 自分の意見を明確にして話すことを指導する。
		評価カード	話し手の意見と根拠を聞き分け、相手の一番言いたいことと相手の意見が変化しなかつたかを聞き取り、評価カードに記入している。	話し手の意見と根拠を聞き分け、相手の一番言いたいことは何かを聞き取り、評価カードに記入している。	意見と根拠を聞き取れなかったときの聞き返す言葉を指導する。 相手の話を忘れないためにメモを取ることを指導する。
4	自己教師	ワークシート	意見と根拠を区別し、根拠を資料以外からも示し2個以上ワークシートに分かりやすくまとめている。	意見と根拠を区別してワークシートに分かりやすくまとめている。	話の構成を確認するポイントと自分の話を分かりやすくするポイントを参考にして考えるように指導する。
		ワークシート	相手の意見の変化が聞き取れないときの対応を自分で考えてワークシートに記入している。	相手の言っていることを聞き逃したときの対応を自分で考えてワークシートに記入している。	優れた対話例を示し、それを基に考えさせる。
5	相互教師	記録用紙	自分の意見と根拠を区別し、対話の中で意見を述べるときは根拠も述べている。	自分の意見と根拠を区別し、対話の最初で意見を先に述べている。	ワークシートを参考にして話すように指導する。 自分の意見を明確にして話すことを指導する。
		評価カード	話し手の意見と根拠を聞き分け、相手の一番言いたいことと相手の意見の変化を聞き取り、評価カードに記入している。	話し手の意見と根拠を聞き分け、相手の一番言いたいことは何かを聞き取り、評価カードに記入している。	意見と根拠を聞き取れなかったときの聞き返す言葉を指導する。 相手の話を忘れないためにメモを取ることを指導する。
	自己教師	評価カード	お互いの意見を比較し、自分の考えを深めて評価カードに記入している。	お互いの意見の共通点や相違点を聞き分け、自分の考えを深めて評価カードに記入している。	メモを取るにより相手の意見を聞き取るように指導する。

1時間目

学習目標 「対話についての目標を明確にすること。」

授業の展開

学習内容・活動と予想される反応	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
<p>1 本時の目標を提示する。 「対話についての目標を明確にすること。」</p> <p>2 対話について考える。(ワークシートを使って) (一方が返事しかしない対話例1を示し,)よくない点を発表しよう。 ・対話者Bが返事しかしないので,対話者Aがむなしい</p> <p>(お互いの関係のない話をする対話例2を示し,)よくない点を発表しよう。 ・自己中心的で相手のことなど考えていないため,お互いの言いたいことだけ言ったら満足している。</p> <p>対話の基本は何だろう。</p> <div data-bbox="165 848 834 925" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・対話とは,「受ける 返す」行為である。 ・相手を尊重し,理解しようとするのが大切である。 </div> <p>(対話例3を示し,)対話において大切なことを発表しよう。 ・相手の話に関わらせた自分の意見を話している。 ・相手の話を引き出すことばを使っている。 ・話がそれないように心がけて話している。 ・相手に相応しい言葉遣いで話している。 ・相手の立場や状況を踏まえて対話している。 ・相手に分かりやすく話している。 ・対話をすることで自分の考えを深めている。</p> <div data-bbox="204 1312 783 1547" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「分かりやすい」 主語と述語が適切に対応している文。 誤解などされない,聞いて分かる語句を選ぶこと。 自分の意見が明確であること。 話の中心部分分かるように順序を考慮すること。 自分の意見と根拠を区別すること。</p> </div> <div data-bbox="834 1312 1388 1547" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「自分の考えを深めている」 互いの共通点を聞き分けること。 互いの相違点を聞き分けること。 自分の考えを確かめながら聞くこと。 相手の一番言いたいことを考えながら聞くこと。 自分の考えと比べて聞くこと。</p> </div>	<p>・ワークシートを配布する。 ・実際に対話をして見せる。 ・板書し,分かりやすくまとめる。</p> <p>・判断基準を具体的に提示する。</p> <p>・「分かりやすい」「自分の考えを深めている」については,具体的な内容も考えさせる。</p>	<p>対話について,自分の考えを表現しようとしている。 (ワークシート)</p>
<p>3 本時のまとめをする。 意見をまとめ,目標を明確にして,生徒と共有する。</p> <p>対話についての目標を明確にすること。</p> <div data-bbox="153 1749 1441 1921" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>対話についての目標 自分の意見と根拠を区別し,順序を考えて話すこと。 話し手の意見と根拠を聞き分け,一番言いたいことは何かを考えながら聞くこと。 お互いの意見の共通点や相違点を聞き分け,自分の考えを深めること。</p> </div>	<p>・板書し,分かりやすくまとめる。</p>	

2時間目

学習目標 「自分の意見と根拠を区別し、順序を考えてまとめること。」

授業の展開

学習内容・活動と予想される反応	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
<p>1 前時の復習 対話の目標を確認しよう。 ・自分の意見と根拠を区別し、順序を考えて話すこと。 ・話し手の意見と根拠を聞き分け、一番言いたいことは何かを考えながら聞くこと。 ・お互いの意見の共通点や相違点を聞き分け、自分の考えを深めること。</p> <p>2 本時の目標を提示する。 「自分の意見と根拠を区別し、順序を考えてまとめること。」</p> <p>分かりやすく話すためには、どうすればよいでしょう。 ・自分の意見が明確であること。 ・分かりやすくするために、意見を先に述べること。 ・自分の意見と根拠を区別すること。</p>	<p>・前時の学習内容を思い出させる。</p> <p>・目標を明確にし、判断基準を具体的に提示する。</p>	
<p>3 自分の話をまとめる。 資料を読んで、対話のために自分の話をまとめよう。</p> <p>1 資料（敬語について）・資料（若者言葉について）を範読する。</p> <p>2 ワークシートに自分の意見と根拠をまとめる。</p>	<p>・ワークシートを配布する。</p> <p>・自分と同じ意見の箇所に線を引かせる。</p>	<p>自分の意見と根拠を区別し、順序を考えてまとめている。 （ワークシート）</p>
<p>4 本時のまとめをする。 自己評価をしよう。 ・学習目標が分かったか。 ・学習目標が明確に示されていることが、役に立ったか。 （書きやすかったか。） ・自分の意見と根拠を区別し、順序を考えてまとめることができたか。</p>	<p>・分かりやすくするためのポイントを再度示す。 ・不十分な生徒に対しての指導を行う。</p>	

3時間目

学習目標 「自分の意見と根拠を区別し、順序を考えて話すこと。」
 「話し手の意見と根拠を聞き分け、一番言いたいことは何かを考えながら聞くこと。」

授業の展開

学習内容・活動と予想される反応	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
<p>1 本時の目標を提示する。 「自分の意見と根拠を区別し、順序を考えて話すこと。」 「話し手の意見と根拠を聞き分け、一番言いたいことは何かを考えながら聞くこと。」</p>	<p>・「話す力」と「聞く力」を確実に付けるために目標を明確にする。 ・ワークシートを参考にし、話すように指導する。 ・メモを取りながら聞くことを指導する。</p>	
<p>2 対話を行う。 各グループに分かれて、対話を行う。（敬語について） 1 一組目の対話を行う。対話（5分間）評価（3分間） ・記録者は対話を記録する。 ・観察者は、1回目と最後のやり取りから、話す力を評価する。対話者の様子（間の取り方・表情など）を評価カードに記録する。 ・対話後、対話者は、相手の一番言いたかったことを評価カードに記入する。 2 二組目の対話（同じように行う） 3 三組目の対話（同じように行う） 4 グループ内のすべての対話が終わったら、記録者、観察者、対話者の記録により、相互評価を行い、集計表に記入する。（15分間）</p>	<p>グループ内で 対話者・記録者・観察者 に役割を分担し、ローテーションで交代しながら対話をさせる。（4分たったところでベルを鳴らす。） ・相互評価したことを集計表に書かせ、さらにより対話するためにグループ内で意見交流をさせる。</p>	<p>自分の意見と根拠を区別し、順序を考えて話している。（記録用紙・相互評価） 話し手の意見と根拠を聞き分け、一番言いたいことは何かを考えながら聞いている。（評価カード・相互評価）</p>
<p>3 本時のまとめをする。 自分の課題を明らかにする。 ・グループ内で対話を振り返り、相互評価・自己評価から、自分の課題を明らかにする。（5分間）</p>	<p>・自分の課題を明らかにし、2回目の対話の目標を明確にする。</p>	

4時間目

学習目標 「2回目の対話に向けて、自分の意見と根拠を区別し、順序を考えてまとめ直すこと。」
 「話の達人を目指して、相手の一番言いたいことを聞き取るためにはどうすればよいかを考えること。」

授業の展開

学習内容・活動と予想される反応	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
1 本時の目標を提示する。 「2回目の対話に向けて、自分の意見と根拠を区別し、順序を考えてまとめ直すこと。」 「話の達人を目指して、相手の一番言いたいことを聞き取るためにはどうすればよいかを考えること。」	・判断基準を具体的に提示する。	
2 1回目の対話から明らかになった課題を克服するための学習。 「対話の達人」について考える。 相手の言っていることを聞き逃したときはどうするか。 確かめる言葉や聞き返す言葉を使う。 相手の意見の変化が聞き取れないときはどうするか。 相手の話に関わらせて発言する。 ・納得するまで尋ねる。 ・深く考える。 ・自分だったらという意識を強くもって聞く。 相手の発言が分からなくなるときはどうするか。 メモのとり方を考える。 ・大事だと思うことを書くこと。 ・相手の話していることをすべて書くのではない。 相手の意見を考慮して対話の進め方を考えよう。 「違う」・・・自分の考えを理解してもらえるように具体例を入れる。 「同じ」・・・もっと知りたいと思ったことは尋ねる。 「どちらでもない」・・・お互いの意見を整理するように進める。 「対話の達人」とはどんなものだろう。 対話中、意見を述べるときは根拠を入れる。 相手の一番言いたいことと相手の意見の変化を聞き取る。 自分の意見と相手の意見とを比較して、自分の考えを深める。	・ワークシートを配布する。 ・前時の学習内容を思い出させる。 ・板書し、分かりやすくまとめる。 聞き逃したとき 相手の意見をもう一度聞きたいときは ・もう一度言ってくれる？ ・さっき「 」って言ったところもう一度言ってくれる？ ・もう少しゆっくり言って。 相手の発言を確かめたいときは ・今、「 」って言ったのよね。 聞き取れないとき 納得するまで尋ねる ・そうかもしれないね。でも、どうして なの？ 深く考える ・なるほど、そうだね。 ・つまり、 ということだね。 「自分だったら」という意識を強くもって聞く ・「私はこう思うけど、 さんだったらどう思う？」	相手の一番言いたいことを聞き取れなかったときの対応について考えている。 （ワークシート）
3 2回目の対話のために自分の意見をまとめ直す。 対話の達人を目指して、自分の意見と根拠を見直そう。 根拠を簡潔にして分かりやすくする。 1回目の対話を踏まえて、自分の意見と根拠を話すために自分の話を考える。 相手の意見を考慮して、自分の話を考える。	・不十分な生徒には机間指導を行う。	自分の意見と根拠を区別し、順序を考えてまとめ直している。 （ワークシート）
4 本時のまとめをする。 意見交流から学んだことを生かして、2回目の対話に向けての目標を明確にさせる。 自己評価をしよう。 ・自分の意見を分かりやすく直すことができたか。 ・対話の達人とはどんなものかが明確になったか。		

5時間目

- 学習目標 「自分の意見と根拠を区別し、順序を考えて話すこと。」
 「話し手の意見と根拠を聞き分け、一番言いたいことは何かを考えながら聞くこと。」
 「お互いの意見の共通点や相違点を聞き分け、自分の考えを深めること。」

授業の展開

学習内容・活動と予想される反応	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
<p>1 本時の目標を提示する。 「自分の意見と根拠を区別し、順序を考えて話すこと。」 「話し手の意見と根拠を聞き分け、一番言いたいことは何かを考えながら聞くこと。」 「お互いの意見の共通点や相違点を聞き分け、自分の考えを深めること。」</p>	<p>・「話す力」「聞く力」「話し合う力」を確実に付けるために目標を明確にする。 ・相互評価・自己評価の判断基準や評価の方法を具体的に示す。</p>	
<p>2 対話を行う。 各グループに分かれて、対話を行う。（若者言葉について） 1一組目の対話を行う。対話（5分間）評価（3分間） ・記録者は対話を記録する。 ・観察者は、一回目と最後のやり取りから、話す力を評価する。対話者の様子（問の取り方・表情など）を評価カードに記録する。 ・対話後、対話者は、相手の一番言いたかったことを評価カードに記入する。 2二組目の対話（同じように行う） 3三組目の対話（同じように行う） 4グループ内のすべての対話が終わったら、記録者、観察者、対話者の記録により、相互評価を行い、集計表に記入する。（10分間） 5自分の考えが深まったかどうかを自己評価する。（5分間）</p>	<p>・グループ内で 対話者・記録者・観察者 に役割を分担し、ローテーションで交代しながら対話をさせる。 ・相互評価したことを集計表に書かせ、さらにより対話にするためにグループ内で意見交流をさせる。</p>	<p>自分の意見と根拠を区別し、順序を考えて話している。 （記録用紙・相互評価） 話し手の意見と根拠を聞き分け、一番言いたいことは何かを考えながら聞いている。 （評価カード・相互評価） お互いの意見の共通点や相違点を聞き分け、自分の考えを深めている。 （評価カード・自己評価）</p>
<p>3 本時のまとめをする。 対話の目標が達成できたか。 対話の達人になれたか。 相互評価・自己評価から、前回の対話と比較させ、よくなったところと対話学習を通して感じたことを自己評価カードに記入させる。（10分間）</p>	<p>・対話の目標が達成できたかどうかをグループで意見交流させる。</p>	